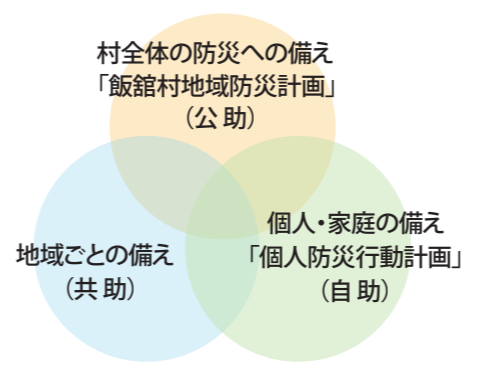


点検しよう！ 私の「防災」

近年、気候変動等の影響により、大規模な自然災害が全国で繰り返して起きています。住んでいる場所や家族構成によっても、「いざ」という時の対応には違いがあります。大雨や台風が発生しやすい季節を前に、ご自身やご家族の「防災」について確認してみませんか。風水害への対応を中心に、防災情報を改めてお伝えします。平常時の備えが「いざ」という時に、大切な生命を守ります。

公助・共助・自助の備えが大切です

村は令和3年に「飯館村地域防災計画」を策定し、さまざまな災害時の村の対応について、関係機関との連携も含め備えています。しかし「防災」には、地域ごとの対策や助け合い(=共助)、個人の備えや行動計画(=自助)も欠かせません。災害が多発する季節を前に、自助の部分にあたる「私の「防災」」について、点検してみましょう。

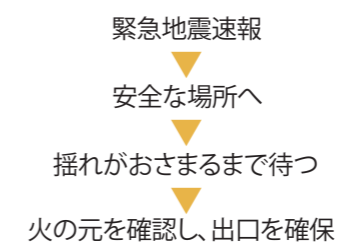


災害ごとの備えと基本の対応

さまざまな災害を想定して備えておこう

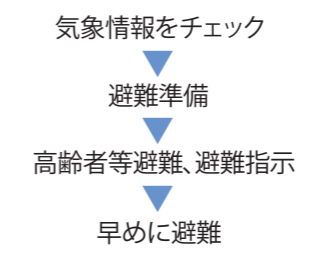
1 地震

● 普段の心がけ
 家具の配置を点検。転倒しないよう家具を固定。散乱物でのケガを防ぐ室内の履き物、懐中電灯などはすぐ使える場所に置いておきましょう。



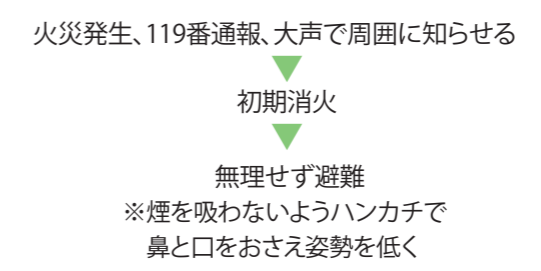
2 風水害・土砂災害

● 普段の心がけ
 避難所や避難場所の位置、安全な経路を確認しておきましょう。家の周りの排水溝などを点検・清掃しておきましょう。



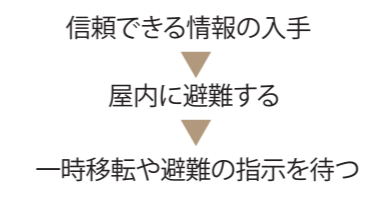
3 火災・林野火災

● 普段の心がけ
 差したままのコンセントのホコリを清掃。火気器具・電気器具や配線の点検。消火器具などの点検。



4 原子力災害

● 普段の心がけ
 自家用車の燃料を確認しておきましょう。マスク・帽子・レインコート等があると放射性物質の付着を減らせます。



5 ミサイル落下

日本にミサイルが落下する可能性がある場合、国が「Jアラート」で緊急情報を発信します。メッセージが流れたら落ち着いて直ちに行動しましょう。

- 屋外 ▶ 頑丈な建物や地下に避難
 建物がない場合は物陰に身を隠すか地面に身を伏せて頭部を守る
- 屋内 ▶ 窓から離れるか窓のない部屋に移動する。

できることから始めよう！ 防災グッズ&備蓄品

おすすめの一例です。我が家に何が家族で話し合ってみてください。

衣類
毛布・寝袋
飲料水・食料
情報収集のツール
ラジオ(電池) 携帯電話(充電器) 手動充電の防災ラジオもあります。
貴重品
例) 鍵、現金、通帳、印鑑、運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証、お薬手帳など
災害時用の調理器具
例) カセットコンロ
キャンプ用品も活用できますね。
簡易トイレ
断水時の水洗トイレはゴミ袋等をかけて使用し凝固剤で固めて燃えるゴミに出します。
ろうそく(マッチ・ライター)
ヘルメット・防災ずきん
懐中電灯・照明器具(電池)
モバイルバッテリー
ポータブル電源
軍手・長靴
医薬品(救急セット)
生活用水
小物類
例) 筆記用具、小型ナイフ、ライター、缶切りなど
衛生用品・生理用品
その他必要なもの
例) 赤ちゃんのミルク・哺乳瓶
季節の必需品
例) カイロ・防寒着

食料品等は消費期限が切れる前に交換しましょう。交換のタイミングで実食し家族で防災訓練を試みるのもおすすめです。

自宅にいる時に災害が起きるとは限りません。職場や車内で被災することもあるでしょう。状況に応じて備えておきたいですね。

浸水で身動きが取れなくなった車から脱出する際に役立つハンマー
車内の取り出しやすい所に。